

ボーリング柱状図

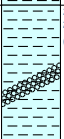
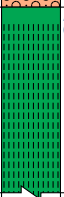
調 査 名

ボーリングNO.

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名	No.1		調査位置						北 緯	36° 36' 58.4000 "		
発 注 機 関	栃木県宇都宮土木事務所				調査期間	2010-07-06 ~ 2010-07-09				東 経	139° 48' 31.6000 "	
調査業者名			主任技師		現 場 代 理 人		コ ン ア 鑑 定 者		ボーリ ング責任者			
孔 口 標 高	187.90 m	角 上		方 向		地盤 勾 配	鉛 直	水平	0°	試 錐 機		
総掘進長	9.40 m	度 下		方 向		使用 機 種	エンジン		ハンマー 落下用具		ボ ン プ	

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位(m) 測定月日	標準貫入試験				原位置試験		試料採取		室内試験	掘進月日	
												深度	10cmごとの打撃回数			打撃回数／貫入量	深度	試験名および結果	深度			試料採取方法
													0	10	20							
(m)	(m)	(m)	(m)									(m)			(m)							
					埴土 (FI)	暗褐			礫混じりシルト、コア長10～15cm程度の玉石が混じる。													
1	186.40	1.50	1.50																			
2					礫混じり粘土 (CH-G)	褐			含水量・中位～高位。粘着性・中位。火山灰質粘性土(ローム)が主体。径5～30mm程度の垂角礫が混じる。軽石が混じる。		07/07 2.50	1.15				10						
3	185.20	1.20	2.70									2.15	1	1	2	10						
4					砂混じり礫質粘土 (CH-G-S)	暗灰			含水量高位。粘着性・中位。径2～20mm程度の垂角礫が多く、径20～80mm程度の粗礫が点在する。礫分に粗密があり、平均レキ率40%程度。上部付近はマサ状の風化礫が点在し、暗緑色を帯びる。			2.45										
5												3.15		3	2	3	8					
6	182.00	3.20	5.90									3.47										
7					シルト質砂礫 (GSM)	暗褐			径5～30mm程度の垂角礫が主体。風化礫が多く混じる。マトリックスは細粒分混じり砂。掘進長7cm程度の硬質な玉石が点在する。			4.15		1	4	2	7					
8					風化岩 (WR)	淡褐			強風化流紋岩。特殊軟岩層で採取したコアは短柱状を主体とするが、固結程度が低く、ナイフで切断可能。剖面は土砂状コアを伴い暗褐色に風化する。全体に風化し、褐変する。			4.45										
9	181.00	1.00	6.90									5.15	1	1	2							
												5.50		20	15	35						
												6.15										
												6.45		11	12	15	38					
												7.15		23	27	5	50					
												7.30										
												8.15		25	25	4	50					
												8.29										
												9.15										
	178.50	2.50	9.40									9.40		17	20	5	25					